

一般社団法人日本鳥学会 2025 年度事業計画

(1) 学術雑誌及び刊行物の編集

- ・日本鳥学会誌を 2024 年 5 月と 11 月に発行する。
- ・Ornithological Science を 2024 年 1 月と 7 月に発行する。
また電子ジャーナル化に伴い、オンライン先行公開についても試行的実施を検討・準備する。

(2) 年次大会, シンポジウム, 講演会などの開催

- ・日本鳥学会 2025 年度大会を 2025 年 9 月 12 日から 15 日に北海学園大学及び北海道大学（札幌）で開催する。
- ・大会の公開シンポジウムを 2025 年 9 月 15 日に北海道大学で開催する。
- ・鳥の学校を年次大会の期間に接続した日程で開催する。

(3) 鳥学の研究, 調査及び内外の関連学会との連絡提携

- ・自然史学会連合, 男女共同参画学協会等を通して関連学会との情報交換, 連携を行なう。

(4) 鳥学に関する情報の提供並びに鳥類の保全と管理に関する助言及び提言

- ・ホームページや鳥学通信, SNS などを通して情報発信を行なう。
- ・必要に応じて鳥類やその生息地の保全, 保護に関する提言, 要望書等の提出等を行なう。

(5) その他, 学会の目的を達成するために必要と認めた事業

- ・黒田賞, 内田奨学賞, 中村司奨励賞, 日本鳥学会ポスター賞の募集をし, 優秀な研究を表彰する。
- ・津戸寄付金によるシンポジウムの公募を行ない, 鳥学に関するシンポジウムの助成を行なう。
- ・伊藤寄付金による国際鳥類学会議 (IOC) の参加補助を行う。
- ・学会に寄せられた書籍を管理し, 保管する。

※（定款第 45 条）本法人の事業年度は、毎年 1 月 1 日から 12 月末日までの年 1 期とする。